

令和 8 年度 地理総合＋地理探究 (02コア)

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は問題16ページです。別に、解答用紙2枚(そのⅠ・そのⅡ)をセットで配付します。
3. 試験開始の合図があったら、問題のページ数を確認し、解答用紙をミシン目で折ってていねいに切り離し、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
4. 問題・解答用紙に落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
5. 解答用紙は、黒鉛筆(シャープペンシル可)のほか、黒・青の万年筆またはボールペンを使用してもかまいません。
6. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。
7. 解答用紙の点数欄には何も記入しないでください。
8. 使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

I 問1

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10		

そのⅠ計

問2

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

問3

①
②

小計

II 問1

①	②
---	---

問2

①	②
---	---

問3

①	②
---	---

問4

--

問5

--

問6

--

問7

--

小計

III 問1

①	②
---	---

問2 (1)

ア	イ	ウ	エ
---	---	---	---

(2)

--	--

(3)

①	②
---	---

問3

小計



Ⅳ

問1

A

B

問2

問3

問4

問5

問6

問7

問8

そのⅡ計

Ⅴ

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩		

小計

Ⅵ

①

②

③

④

⑤

小計



令和8年度 入試問題訂正票

法・経済・文・理・国際社会科・国際文化交流 学部 コア試験
法・経済・文・理・国際社会科・国際文化交流 学部 プラス試験
科目 地理 の試験問題について、訂正があります。

記

<u>6</u> ページ <u>1</u> 行目	
誤	正
日本	中国

I 以下の設問に答えなさい。(20点)

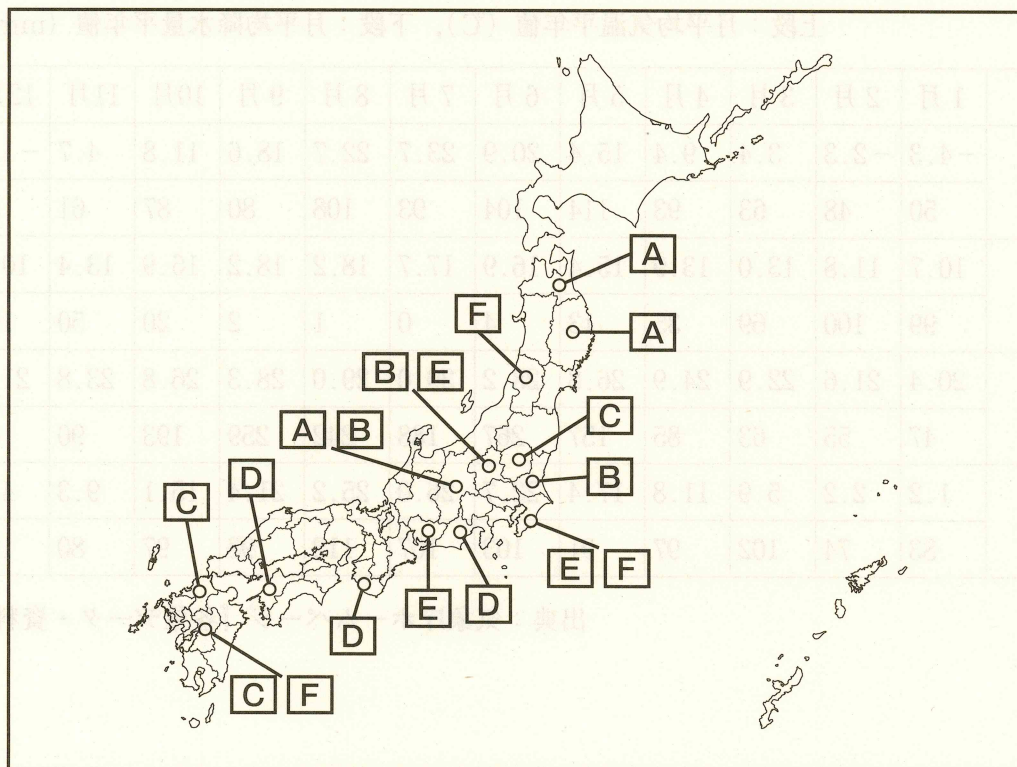
問1 次の①～⑦は、2024年に大きく報道されたニュース(日付順)の要約である。文中の空欄(1)～(10)に、適する語句を答えなさい。

- ① 1月1日、中国やロシアなどが主導する(1)に、(2)首長国連邦、イラン、エチオピア、エジプトが加盟(加盟予定であったサウジアラビアは正式には未加盟と主張)。2025年1月には(3)も加わった。
- ② 1月1日、石川県(4)地方で最大震度7の地震が発生し、540人以上が死亡した(2025年3月末時点)。(4)地方は9月にも記録的豪雨の被害を受けた。
- ③ 3月7日、(5)が(6)機構(NATO)に正式加盟。2023年4月のフィンランドに続く新規加盟で、NATO加盟国は32か国となった。
- ④ 7月5日、(7)で14年ぶりに労働党が政権を奪還した。保守党に代わり、下院選挙で過半数議席を獲得した労働党のスターマー氏が新首相に就任した。
- ⑤ 7月27日、新潟県の「(8)の金山」がユネスコ世界文化遺産に登録された。
- ⑥ 8月8日、宮崎県で発生した地震を受け、(9)地震発生の可能性が少し高まったとして、気象庁が「(9)地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表した。
- ⑦ 12月8日、(10)で反体制派がアサド大統領を追放した。親子2代にわたって独裁体制を築いてきたアサド政権が崩壊した。

出典：『日本国勢図会 2025/26』 2024年の10大ニュース(日付順)

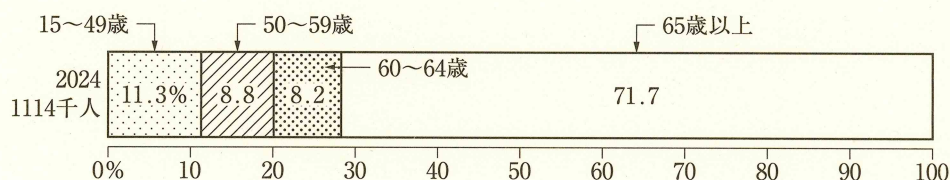
問2 次の図は、野菜・果実の主産地（2023年産収穫量の上位3県）を示したものである。A～Fに該当する野菜・果実を次のア～カから選び、記号で答えなさい。

- ア いちご イ キャベツ ウ すいか エ みかん
オ りんご カ レタス



出典：『日本国勢図会 2025/26』

問3 下の図は、2024年における年齢別基幹的農業従事者の割合（個人経営体）を示したものである。この図から読み取れる①日本の農業の問題点と②その解決策を、それぞれ答えなさい。



出典：『日本国勢図会 2025/26』

Ⅱ アメリカ合衆国に関する以下の設問に答えなさい。(20点)

- 問1 次の表は、サンフランシスコ、シカゴ、マイアミ、ニューヨークにおける気温と降水量をそれぞれ示している。表中ア～エのうち、①サンフランシスコ、②シカゴに該当するものをそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

上段：月平均気温平年値（℃），下段：月平均降水量平年値（mm）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ア	-4.3	-2.3	3.4	9.4	15.4	20.9	23.7	22.7	18.6	11.8	4.7	-1.3
	50	48	63	93	114	104	93	108	80	87	61	53
イ	10.7	11.8	13.0	13.9	15.4	16.9	17.7	18.2	18.2	16.9	13.4	10.7
	99	100	69	35	13	4	0	1	2	20	50	106
ウ	20.4	21.6	22.9	24.9	26.8	28.2	29.0	29.0	28.3	26.8	23.8	21.8
	47	55	63	85	157	267	188	242	259	193	90	62
エ	1.2	2.2	5.9	11.8	17.4	22.7	26.0	25.2	21.4	15.1	9.3	4.3
	83	74	102	97	91	103	107	112	98	97	80	105

出典：気象庁ホームページ『各種データ・資料』

問2 次のア～エは、アラスカ州（西部太平洋岸）、カリフォルニア州（西部太平洋岸）、マサチューセッツ州（北東部）、ミシシッピ州（南部）における人種構成*をそれぞれ示している。次のア～エのうち、①カリフォルニア州、②ミシシッピ州に該当するものをそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

※ヒスパニックは人種の区分ではなく、主にスペイン語を母語とする中南米出身者もしくはその子孫をいう。括弧内の数値は、人種構成とは別立てに、各州における全人口に占めるヒスパニックの割合を再掲した値。

ア 白人58.7%，黒人37.8%，アジア系1.2%，先住民0.7%（ヒスパニック3.9%）

イ 白人64.2%，先住民15.6%，アジア系6.8%，黒人3.7%，太平洋系1.7%（ヒスパニック7.5%）

ウ 白人79.0%，黒人9.6%，アジア系7.9%，先住民0.6%（ヒスパニック13.5%）

エ 白人70.4%，アジア系16.5%，黒人6.5%，先住民1.7%（ヒスパニック40.4%）

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』

人種	割合（％）	人種	割合（％）
白人	58.7	黒人	37.8
アジア系	1.2	先住民	0.7
ヒスパニック	3.9		

問3 次の表は、ペンシルヴェニア州（北東部）、アイオワ州（中西部）、テキサス州（南部）、モンタナ州（西部山岳）における農畜産物（2023年）をそれぞれ示している。表中ア～エのうち、①アイオワ州、②テキサス州に該当するものをそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

	牛	豚	小麦	とうもろこし	大豆	綿花
	(万頭)		(万t)			(千t)
ア	216	24	508	22	…	…
イ	1,250	114	211	651	6	815
ウ	350	2,500	…	6,407	1,560	…
エ	135	146	48	271	72	…

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』

問4 次の表は、アメリカ合衆国、中国、インド、ロシアにおける小麦、米、とうもろこしの生産量（2023年）をそれぞれ示している。表中ア～エのうち、アメリカ合衆国に該当するものを1つ選び、記号で答えなさい。

（単位：千t）

	小麦	米	とうもろこし
ア	110,554	206,727	38,085
イ	91,500	1,066	16,600
ウ	136,590	206,603	288,842
エ	49,314	9,902	389,694

出典：『世界国勢図会 2025/26』

問5 次の表は、アメリカ合衆国、日本、インド、ブラジルにおけるエネルギー源別国内消費割合（2024年）をそれぞれ示している。表中ア～エのうち、アメリカ合衆国に該当するものを1つ選び、記号で答えなさい。

（単位：％）

	石炭	石油	天然ガス	原子力	水力	再生可能エネルギー
ア	58.0	20.3	9.8	3.1	3.1	5.7
イ	8.6	39.0	35.4	9.8	0.9	6.3
ウ	59.2	28.1	6.5	1.5	1.5	3.1
エ	5.0	48.0	10.5	1.6	13.9	21.0

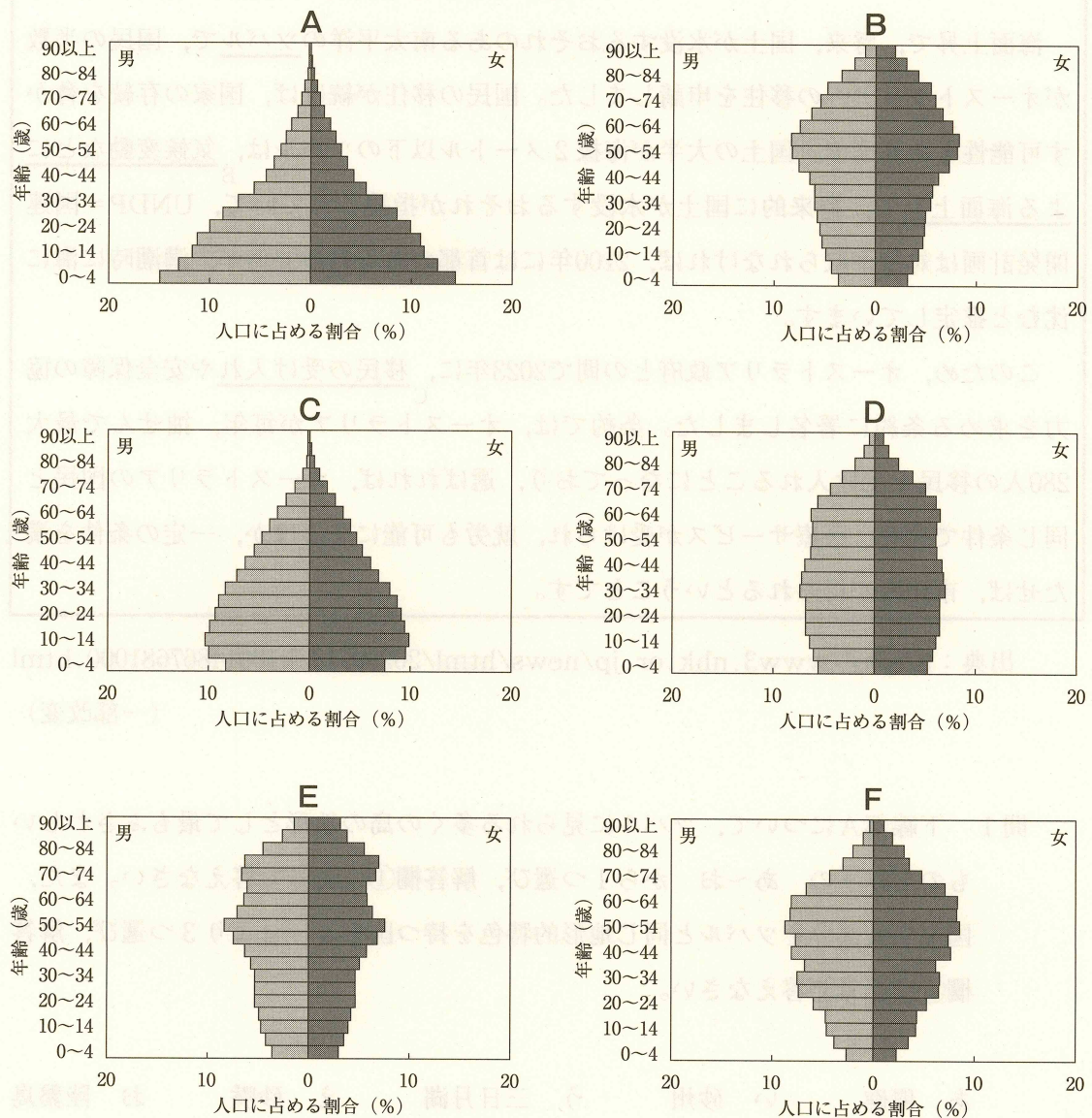
出典：『世界国勢図会 2025/26』

問6 次の表は、イタリア、トルコ、タイ、インド、オーストラリアにおける金額による輸出・輸入相手国の割合をそれぞれ示しており、表中A～Dは、アメリカ合衆国、日本、ドイツ、中国のいずれかである。表中A～Dのうち、アメリカ合衆国に該当するものを1つ選び、記号で答えなさい。

	金額による輸出・輸入相手国の割合（％）					
	上段：輸出，下段：輸入					
イタリア	A	11.9	B	10.7	フランス	10.1
	C	15.2	A	8.0	フランス	7.9
トルコ	C	8.2	B	5.8	イラク	5.0
	ロシア	12.6	A	12.4	C	7.9
タイ	B	16.6	A	12.0	D	8.6
	A	23.3	D	11.3	B	6.0
インド	B	17.6	アラブ首長国	7.7	オランダ	5.4
	A	18.1	ロシア	10.0	B	6.3
オーストラリア	A	32.6	D	9.8	韓国	5.7
	A	24.9	B	11.3	D	6.3

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2025年版』

問7 次のA～Fは、アメリカ合衆国、日本、韓国、フィリピン、イタリア、エチオピアにおける人口ピラミッドをそれぞれ示している。次のA～Fのうち、アメリカ合衆国に該当するものを1つ選び、記号で答えなさい。



出典：『United Nations, Department of Economic and Social Affairs, Population Division. World Population Prospects: The 2024 Revision. (Medium variant)』より作成

Ⅲ 地球環境問題に関する次のニュースを読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

南太平洋ツバル 国土水没のおそれ国民の半数 豪への移住申請

NHK NEWS 2025年7月18日 18時00分配信

海面上昇で、将来、国土が水没するおそれのある南太平洋のツバル^Aで、国民の半数がオーストラリアへの移住を申請しました。国民の移住が続けば、国家の存続を脅かす可能性もあります。国土の大半が海拔2メートル以下のツバルは、気候変動などによる海面上昇^Bで、将来的に国土が水没するおそれが指摘されていて、UNDP＝国連開発計画は対策が取られなければ、2100年には首都のある島の95%が、満潮時に海に沈むと推定しています。

このため、オーストラリア政府との間で2023年に、移民の受け入れ^Cや安全保障の協力を求める条約に署名しました。条約では、オーストラリアが毎年、抽選で最大280人の移民を受け入れることになっており、選ばれれば、オーストラリアの国民と同じ条件で教育、医療サービスが受けられ、就労も可能になるほか、一定の条件を満たせば、市民権が得られるということです。

出典：https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250718/k10014867681000.html

(一部改変)

問1 下線部Aについて、ツバルに見られる多くの島の地形として最もふさわしいものを以下の あ～お から1つ選び、解答欄①に記号で答えなさい。また、国土の大部分をツバルと同じ地形的特色を持つ国を a～g より3つ選び、解答欄②に記号で答えなさい。

あ 環礁 い 砂州 う 三日月湖 え 砂嘴 お 陸繋島

a キリバス b マルタ c モルディブ d マーシャル諸島

e ソロモン諸島 f アイスランド g キューバ

問2 下線部Bについて、以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 気候変動の要因としてCO₂などの温室効果ガス排出量の増大による地球温暖化がある。表1は、日本、中国、インド、EU27か国の1990年と2022年におけるエネルギー起源温室効果ガス排出量を示したものである。ア～エに該当する国・地域を下の あ～え より選び、記号で答えなさい。

表1

(単位：億トンCO₂換算)

	1990年	2022年	変化率
ア	22.0	107.5	+357%
イ	35.3	25.7	-27%
ウ	6.3	26.5	+321%
エ	10.6	9.8	-7%

出典：国際エネルギー機関（IEA）「Greenhouse Gas Emissions from Energy」2024 EDITIONを基に環境省作成

あ 日本 い 中国 う インド え EU27か国

- (2) 現在進行している地球規模の急速な海面上昇を引き起こす原因として該当するものを下から2つ選び、記号で答えなさい。

- ア 地下水の過剰な汲み上げ
イ 大雨や洪水の増加
ウ 海水の熱膨張
エ 氷河や氷床の融解
オ オゾン層の破壊

- (3) 地球温暖化に対して世界規模の対策が講じられている。その1つとして、2015年に開催された国連気候変動枠組条約の第21回締約国会議（COP21）で採択された協定の名前を解答欄①に答えなさい。また、そこで示された、温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成することを一般に何と呼ぶか解答欄②に答えなさい。

問3 下線部Cに関して、ツバルのみならず世界的にみて、気候変動を理由にそれまでの居住地での安全な生活が不可能となり、国内外への移動を余儀なくされる避難民（環境難民・気候難民ともよばれる）が今後も増加するとの試算がある。それでは、気候変動に関連して、海面上昇のほかにどのような原因により避難民が発生するであろうか。2つ例を挙げて説明しなさい。

Ⅳ 世界人口に関する次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

2022年11月、世界の人口が80億人に達したことが国連によって発表された。翌年の2023年には、14億3,807万人の人口を抱えるインドが、長らく世界一の人口大国であった中国の14億2,259万人を上回った。中国の人口は、1970年代後半からの同国の人口抑制策の影響で20世紀末には人口増加が落ち着き、2022年には人口減少に転じた。インドでも1970年代から本格化した家族計画の奨励により人口増加率は鈍化しつつも、人口規模のピークを迎える2060年代半ばまで人口増加が続く見通しとなっている。

世界の人口は1950年には25億人に満たなかったが、1987年には50億人、2011年には70億人を超え、依然として人口の急増が続いている。第二次世界大戦後、人口増加が最も激しかったのは1950年代後半～1960年代で、年2%前後の割合で増えていた。その後、増加率は漸減し、近年は年1%を下回り、増加のペースは緩やかになっているものの、2080年代半ばまでは人口増加が見込まれている。とくに人口増加が著しいのは、国連によって後発開発途上国に認定されている国々である。2025年時点において後発開発途上国には44か国が認定されており、7割以上が[X]に位置している。

人口動態のうち出生と死亡を指標とする自然増加の変動に限ってみると、その変化は経済社会の発展に伴って大きく3つの段階に分けられる。すなわち、出生率・死亡率ともに高い第一段階、出生率が高水準のまま死亡率が下がる第二段階、出生率・死亡率ともに低水準となる第三段階と推移するのである。国連によると2025年時点、世界の約半数の国・地域が第二段階後半から第三段階にあるが、後発開発途上国の多くは第二段階前半から中盤にあり、2050年までの世界人口増加分のうち約半分近くが後発開発途上国によるものと予測されている。

一般的に、人口動態の第二段階後半に出生率が下がることで15歳～64歳人口の割合が相対的に増加すると、豊富な労働力や大きな市場に恵まれることによる経済成長の恩恵が見込まれる。後発開発途上国はいずれも、今後、第二段階後半に移行することで、その恩恵が期待されるが、後発開発途上諸国がその機会を着実に生かして経済発展の恩恵に浴するためには、交通・通信インフラやエネルギー・資源の

確保，[Y] など社会インフラの整備が必要であると指摘されている。

自然増加の変動の3段階で，第三段階に入った国々では少子高齢化が進行している。とりわけ先進工業国・地域の多くでは合計特殊出生率^エが人口維持に必要な値（人口置換水準）を下回る少子高齢化傾向が続いている。2023年時点のデータによれば，欧米主要先進国の値はドイツ1.44，イギリス1.56，北欧4か国平均1.41，フランス1.64，アメリカ1.62など依然として低水準で推移している。一方，アジアの新興国においてもインド1.98，マレーシア1.55，タイ1.21など工業化の進展とともに人口置換水準を下回る国がみられ，とりわけ中国1.00，台湾0.87，香港0.72，日本1.15，韓国0.75など，東アジアの工業先進国・地域の少子化傾向は深刻化の一途をたどっている。

出典：『世界国勢図会 2023/24』・『世界国勢図会 2024/2025』（一部改変）

問1 文中の二重下線部A・Bを別の適当な語句に置き換えなさい。

問2 文中の下線部アについて，主に途上国において第二次世界大戦後の激しい人口増加が生じた要因として適当でないものを下の あ～え から1つ選び，記号で答えなさい。

あ 出生率は依然として高い水準で推移しつつ，医療と保健・衛生の向上により感染症による乳幼児の死亡率が低下した。

い 農業技術の進展により作物の生産能力が向上し，全般的な栄養の改善が生じた。

う 貧困状態にある世帯において，子どもを多く産んで労働力を確保している。

え 女性の社会的地位が高くなり，望まない妊娠への対策や改善のための情報・手段が普及した。

問3 文中の空欄〔 X 〕にあてはまる地域として適当なものを下の あ～えから選び、記号で答えなさい。

- あ インド洋・太平洋の島しょ国
- い サハラ以南のアフリカ諸国
- う 西アジアから北アフリカのイスラーム諸国
- え 南アメリカ諸国

問4 文中の下線部イに関して、出生率と死亡率の推移が第一段階から第三段階に移行することは人口学的に何と呼ばれるか、適当な語句を答えなさい。

問5 文中の下線部ウに関して、一国の年齢別人口構成において15～64歳人口の割合が多く、高度な経済成長が見込まれる状態は何と呼ばれるか、適当な語句を答えなさい。

問6 文中の空欄〔 Y 〕にあてはまる人口に関わる適当な方策を1つ答えなさい。

問7 文中の下線部エに関して、人口維持に必要な合計特殊出生率の値を、下の あ～お より近いものを選び、記号で答えなさい。

- あ 1.7 い 1.9 う 2.1 え 2.3 お 2.5

問8 文中の下線部オに関して、東アジア諸国・地域において出生率が極めて低い水準で推移している主な要因を2つ答えなさい。

V 次の文章はEUの歩みについて説明しているものである。①～⑩に該当する語句を答えなさい。(20点)

EUのおおもとは、1952年、ECSCと略されるヨーロッパ（①）共同体である。これはヨーロッパの国々の争いの原因であった戦略物資を連携して管理・共有するためであった。1958年、貿易の自由化を目指してEECと略されるヨーロッパ（②）共同体、EURATOMと略されるヨーロッパ（③）共同体が次々に発足した。そして1967年、フランス、西ドイツ（当時）、イタリア、ベルギー、オランダ、（④）の6か国が参加して、（⑤）と略されるヨーロッパ共同体が発足した。

冷戦後、ヨーロッパ共同体への加盟国は東西のヨーロッパ全体に広がり、1993年、EUの基本条約となる（⑥）条約が発効し、加盟国間の経済活動の自由化と統合が強化された。1995年に施行された（⑦）協定によって、EU加盟国を中心に国境管理が廃止され、人々の国境の自由往来が促進された。1999年には単一通貨である（⑧）が導入され企業間の取引や個人旅行・買い物が発達になった。

EUの複数の機関は域内に分散していて、本部はベルギーの首都である（⑨）にあり、欧州司法裁判所は（④）に、フランスの都市（⑩）には欧州議会が、ドイツのフランクフルトには中央銀行が配されている。

Ⅵ 世界（日本を含む）のさまざまな家屋，集落，居住環境などに関する次の①～⑤の用語を，その地域性（地方，国，県，都市，気候，地形など）に触れながら解答用紙の枠内で簡潔に説明しなさい。（20点）

- ① 高床式住居
- ② 日干しレンガ
- ③ ゲル（パオ）
- ④ 合掌造り
- ⑤ 環濠集落